

双葉農業普及所だより ～ふくしまからはじめよう。「食」と「ふるさと」新生運動～

ふたばの農業通信

再刊 第12号

令和8年3月10日発行

相双農林事務所双葉農業普及所 〒979-1111 双葉郡富岡町小浜 481 番地 TEL (0240)23-6472

E-mail hutaba.af06@pref.fukushima.lg.jp FAX (0240)22-2560

GAP 新規取得者を紹介します！



アグリパークとみおかさん

JGAP（富岡：ブドウ、サツマイモ）

富岡町で JGAP 取得は初となりました。

利用者さんが農作業しやすい環境づくりにも GAP が活かされています。



GAP（Good Agricultural Practice：よい農業の取組）は、一般的には「農業生産工程管理」と呼ばれており、具体的には、農場経営管理、食品安全、環境保全、人権保護、労働安全の5つの分野でチェックを行います。農薬及び肥料の使用履歴や、資材の在庫管理や整理整頓などを行うことで、自身の経営の見直しや効率化、後継者や雇用者に経営の見える化を図ることができます。

資材の在庫管理や整理整頓など、まずはGAPを「する」ことから始めませんか？

GAPには、全国統一基準のJGAP、福島県独自基準のFGAPなどいくつか種類があります。取得に興味のある方は、当所までご連絡ください。

スマート農業技術を紹介します！

福島県では、スマート農業技術を推進するため「スマート農業社会実装推進事業」に取り組んでいます。双葉地域においては、園芸品目および水稻に関する4つの技術実証に取り組みました。

その成果がまとまりましたので紹介します。

○果樹『ぶどうの盛土式根圏制御栽培等による早期成園化と省力化』

盛土式根圏制御栽培とは、地面に遮根シートを敷き、その上に培土を盛り上げて樹を植え付け、根の広がる範囲を制限する栽培方法です。

この栽培方法では、樹体の生長を調節するため、早期成園化が可能となり、水分量及び施肥量の制御により、栽培管理の省力化や果実品質の安定化が期待できます。



○野菜『タマネギ直播栽培による省力化』

タマネギの直播栽培技術は、種を直接ほ場にまくことで、育苗～移植にかかる時間や労力を省略することができる技術です。

これまでの実証によって、育苗作業に必要な機械が不要であり費用が抑えられること、移植栽培と合わせることで作期分散が可能であることが確認されました。



○花き『トルコギキョウ作型適応苗による抑制作型の切り花長伸長』

トルコギキョウを自然開花期よりも遅らせて秋に開花するように栽培する抑制作型において、夏期の高温による短茎開花対策が課題となっていました。

作型適応苗は、育苗時に本葉2対展開後から温度や日長を制御することで、その作型に適応するようにした苗のことです。

抑制作型で作型適応苗を導入することにより、特定の品種で切り花長が長くなり、出荷率や単価の向上が期待できることが確認されました。



○作物『プラウ耕・グレーンドリル播種体系による乾田直播栽培』

水稲では、育苗や代かき作業の省力化、作期分散に効果がある乾田直播のうち、大型の畑作物機械を利用するプラウ耕・グレーンドリル播種体系による乾田直播栽培の実証に取り組みました。

これまでの実証において、育苗や代かきの春作業の省力化及びコスト・労力削減ができること、移植栽培や湛水直播栽培と組み合わせることで作期分散に繋がるということが明らかになりました。



鳥獣被害対策について

浪江町苅宿地区に鳥獣被害防止対策のモデル地区※を設置しています。2年目となる本年は、恒久電気柵を地区内に約1km設置しました。「電線がたるまないため、草刈りがしやすく電線を切る心配をしないですむ」との意見がありました。

※モデル地区：集落が主体となり被害防除、環境整備、有害捕獲を組み合わせた対策に総合的に取り組んでいる地区のこと。



飼料作物でも鳥獣被害対策を行いましょう！

飼料用トウモロコシ栽培場所においても、イノシシやサルの被害が多く見られています。

- ★ワイヤーメッシュ柵と電気柵を組み合わせた複合柵の設置などにより、侵入を防ぎましょう。
- ★野生鳥獣を呼び寄せる恐れのある植物残渣を放置しないようにしましょう。

環境にやさしい農業の取組「みどり認定」を受けてみませんか？

国の「みどりの食料システム戦略」では、2050年に生産現場において、化学農薬50%削減や化学肥料30%削減及び有機農業取組面積を耕地面積の25%に拡大などの目標を掲げています。

「みどり認定」はそれらを達成するため、「みどりの食料システム法」に基づき、有機質資材施用や温室効果ガスの排出量を削減する取組などの環境にやさしい農業に取り組む生産者が5年間の生産計画を作成し、県から認定を受ける制度です。設備投資の税制優遇、金融公庫の無利子融資などの特典があります。なお、かつてエコファーマーを取得した方は、簡易な申請手続きでみどり認定を受けられます。次世代にわたる持続可能な農業生産のためにとっても重要な取り組みです。関心のある方は、ぜひ当所にご相談ください。

サツマイモ基腐病に注意してください ⚠

福島県内では、令和6年に南会津地域、令和7年に中通り地域でサツマイモ基腐病の発生が確認されています。サツマイモ基腐病は、株の地際が暗褐色～黒色になり、株全体が生育不良や萎れ、黄変する病気です。この病気は一度発生してから急速に蔓延するため、ほ場内に持ち込まないことが重要です。

双葉地域においては、未確認ですが、来歴が不明な苗を使わない、信頼できる業者の苗を買う、他人のほ場に入った靴や道具は洗ってから自分のほ場に持ち込むなどの予防措置を取りましょう。



福島県病害虫防除所提供

放射性物質吸収抑制対策を徹底しましょう

放射性物質の吸収を抑制するには、土壌中の交換性カリウムを一定水準以上に保つことが必要です。作付前に土壌分析で土壌中の交換性カリウム含量を確認し、カリウム肥料の施用を適切に実施してください。

吸収抑制対策には、堆肥の利用も効果的です。当管内の堆肥供給者については右のQRコードからご確認ください。



双葉郡堆肥供給者リスト

緊急時モニタリング検査を実施しています

食用として出荷・販売（譲渡を含む）される品目及び牧草・飼料作物については、放射性物質のモニタリング検査を実施しています。

【水稻、穀類・雑穀、野菜、栽培された山菜、果樹、牧草・飼料作物】

品目や地域によって、検査点数や検査対象地域に細かい決まりがあります。検査が終了し、安全性が確認公表されるまでは出荷・販売・利用することは原則としてできませんので、生産者の皆様におかれましては検査にご協力をお願いいたします。



詳細は町村農政担当係または当所までご相談ください。



春の農作業安全運動実施中！

実施期間：3月1日～5月31日

春はトラクターを利用する機会が多くなり、農作業事故が発生しやすくなります。

◎作業前に機械の点検・整備と作業手順の確認を行いましょう。

◎また、点検・清掃時は必ずエンジンを止めましよう。